

本能まちづくりニュース

第3号 平成12年4月25日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

「本能のまち 再発見」町あるきツアー実施される

3月18日午後、本能まちづくり委員会の主催で「本能のまち 再発見 町あるきツアー」が実施されました。



藤西町 道祖神付近

当日は、約60名の参加がありました。一行は、元本能小学校で説明の後、本能まちづくり委員会の腕章をつけ、二班に分かれて、山田町の「八坂神社末社」、京都市指定有形文化財「野口家住宅」、藤西町の「道祖神」、亀屋町の「稲荷神社」「空也堂」、越後突抜町の「大井家住宅」、写し友禅発祥の地「越後神社」、池須町和田邸内の「肉桂水の井戸」、元本能小学校資料室の「青い目の人形」等身近

にありながらあまり知らなかったところを、一斑は坪内氏、二班は安西自治連会長の説明をうけながら、各自カメラを手に、気に入った風景を写真に撮りながら見学をしました。

ツアー終了後、各自が作成した「ふりかえりシート」をもとに「町あるきで感じたこと」「再発見したこと」などを話し合い、午後4時30分に「本能のまち 再発見 町あるきツアー」を終了しました。

広報部から、(財)京都市景観・まちづくりセンターからの依頼によってモニターリング中の「パソコンによる地図づくり」(住民参加型まちづくりデータベース事業)の説明がなされました。

当日飛び入り
大歓迎!

本能まちづくり委員会の次回開催日

平成12年5月1日(月)午後7時より

ばしょ: 本能自治福祉会館2階 小川通蛸薬師下ル

前回(4月3日)の資料をご持参ください

参加して感じたこと

ふりかえりシートから

私が、気づいたのは

- 長い間、本能学区に住んでいるが、知らないところがたくさんあった。
- 京都は本当に歴史のある町だ。
- 建物が新旧混在である。
- まちの中には緑が少ない。

私が、おどろいたのは

- 普段見られないところを、見せていただいたこと。
- 学区の方とお話できたこと。一緒に歩くことができたこと。
- まち歩きに大勢の人が参加したこと。

私が、うれしかったのは

- 本能のまちに、八坂神社の末社、道祖神、肉桂水などがあつた。
- 普通の民家のなかに、様々な由緒あるものがあつたこと。
- 町内で、昔からの伝統や行事が受け継がれていること。
- マンションを裏側から見ると、威圧感を感じることに。

私が、がっかりしたことは

- 古い建物などが壊されていくこと。
- 町並みとして魅力にかけること。
- 自然が少ないこと。
- 高齢の方の参加者は多かったが、若い人の参加が少なかったこと。

私が、学んだことは

- 住みよいまちにしていこうという視点。
- 世代を超えたまちづくりをしていくために、世代共通となるものを見出すこと。
- 知識を前準備しておくこと。
- 各家庭のプライベートと、地域活動として公に広げていくこととの兼ね合い。
- 古きよき時代の風景と気質を残していくのが我々の使命ではないか。
- 古い物を維持する苦勞(管理)を、誰が負担するのかを論議する必要がある。

私にとって、必要だと思ったのは

- 知らないことがわかった。
- 本能(京都)の文化を子供たちに伝えていくこと。
- 町内で長い間守ってきたことがあること。
- 表通りと裏とは雰囲気が違うこと。
- 多くの人の関心が、まちづくりの原点か?

考えたこと・思ったこと

本日の発見を家族に聞かせてあげたい。

車が多くて、のんびりと歩けなかったのが残念でした。

新しい住民の方へも声掛けをしていかななくてはならないのでは。

次回も楽しみにしています。スタッフの皆さんありがとうございました。

